

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	運動学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎202
担 当 教 員	高橋 秀郎	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>目標1.柔道整復師として将来の臨床活動に必要な知識を身につける2.国家試験合格に必要な運動学の知識を身につける3.運動学の学習を通じて身体の構造を理解することによって解剖学の知識を整理する 全国柔道整復学校協会監修 「運動学」の内容解説、適宜、実演を用いた身体運動の理解</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験： 100%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版 医歯薬出版 斉藤宏 鴨下博</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>運動学の教科書を主に講義を行うので、教科書の読み込みをしておくこと。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>わからない部分があれば講義終了後に質問に来て下さい。メールでの質問も受け付けます。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動学の目的 運動の表し方を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学 第3版		
	講義形式	各コマにおける授業予定	運動学の目的 運動の表し方			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節運動の表示 てこの構造を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版		
	講義形式	各コマにおける授業予定	関節運動の表示 てこの構造			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	てこの構造 運動の法則を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版		
	講義形式	各コマにおける授業予定	てこの構造 運動の法則			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動の法則 骨の構造と機能を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版		
	講義形式	各コマにおける授業予定	運動の法則 骨の構造と機能			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節の構造を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版		
	講義形式	各コマにおける授業予定	関節の構造			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋線維の種類 運動単位を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	筋線維の種類 運動単位		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経筋接合部 筋収縮の様態を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	神経筋接合部 筋収縮の様態		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経線維 神経シナプス 末梢神経を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	神経線維 神経シナプス 末梢神経		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経 中枢神経 感覚の種類を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	末梢神経 中枢神経 感覚の種類		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋紡錘と腱器官を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	筋紡錘と腱器官		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	反射 反射弓を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	反射 反射弓		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	反射弓 反射の部位による分類 反射中枢による分類 脊髄反射 延髄・橋の反射を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	反射弓 反射の部位による分類 反射中枢による分類 脊髄反射 延髄・橋の反射		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	中脳・視床・大脳の反射 連合運動 共同運動 随意運動を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	中脳・視床・大脳の反射 連合運動 共同運動 随意運動		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢帯の運動 肩関節の動き肩関節の運動を理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	上肢帯の運動 肩関節の動き肩関節の運動		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	肩甲上腕リズムを理解する	全国柔道整復学校協会監修 運動学第3版	
		各コマにおける授業予定	肩甲上腕リズム		